

## バスラ日誌 (3月6日)

- 1 本日 [ ] がR&R (レスト・アンド・レクレーション) に出発したため、バスラLOは [ ] である。  
1 欠の上に衛星通信システムがダウンし、業務もなかなか困難な状況にある。[ ] を使い口頭とメールを併用した連絡手段を確保してはいるものの、サマーワ本隊から通常入手できる情報が得られないことと、電話連絡がしにくいのが頭痛の種である。[ ] を利用したメールは、その都度RDC (総務) に赴き、データをインポートあるいはエクスポートしなければならないので不便であるが、口頭だけの通報ではどうしても限界があり、データを [ ] 上からメールで送付する必要がある。日本語変換ができないため、データを1回1回映像データとして認識させ、送付しなければならず、余分に時間をかける必要があるが、できるだけ通常時に近い情報提供ができるよう努力している。 [ ]
- 2 先入親の話でバスラ日誌に登場した [ ] が6ヶ月の勤務を終え、つい先日、本国へ帰っていった。後任は [ ] である。一昨日 [ ] とその [ ] と3人で話しをしていたら、イラク派遣前の教育の話になった。少佐が「何か特別なことを習うのか。」と聞くので、私は「アラビア語を少し習うのと、我々は学校でアメリカ英語しか習わないので、イギリス英語を2ヶ月ぐらい勉強するよ。」という、少佐は「それは確かに必要なことだ。」と納得していた。すると大尉が、「我々にもイラクに派遣される前に大事な教育がある。」という。それは何かと尋ねると「男性兵士に多国籍軍で勤務する時は“女性兵士に話しかけてはいけない” “女性兵士に触ってはいけない” ということを経験するんだ。」といった。冗談をいったのかも知れないが、私の先入親の中には「イタリアの男性は女性が大好きで、女性がいたら声をかけずにはいられない。(現に、 [ ] の隣に座っているイタリアLO [ ] はしょっちゅう女性に声をかけている。)」というものがあつたので思わず吹き出してしまった。少佐も「それが一番大事なことだ。」と言いながら笑っていた。先入親も正しいことがあることが分かった1日だった。 [ ]
- 3 本日、晴のち曇り。バスラ3名、極めて健康。 [ ]
- 4 R&R [ ] は、もうすぐ奥様と会えるから、超健康。 [ ]



## スミッティLO日々業務報告(3月6日)

区 分	内 容
1 警戒態勢等	変化なし [ ] Threat Level [ ]
2 特記事項	特になし
3 本日の業務	(1) 情報要求対応等 サマーワの治安情勢(特にキャンプ サマーワ及びスミッティ周辺)、デモ情報、英豪軍の情勢判断、豪軍の交通事故対応要領等 (2) 各種業務調整等 J9・10関連、明日以降の豪軍支援要請関連、業支隊長・POLAD訪問関連(9日) (3) 各種ミーティング等 英・豪軍作戦会議参加
4 明日の予定	(1) 情報要求対応等 (2) 各種業務調整等 (3) 各種ミーティング等
5 その他(備考)	明日の射撃訓練 RANGE3・4:英軍(小火器) 0800~1700